コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修・長野　2020

**事後課題シート**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 都道府県  市区町村 |  |
| 所属施設・機関 |  | 所属部署 |  |

１　あなたがコミュニティ（地域）のなかで抱えていた課題について、研修受講後、アプローチできたり、解決の方向が見えたことについて書いてください。

|  |
| --- |
|  |

２　あなたがこの研修受講を通じて学んだことについて書いてください。

|  |
| --- |
|  |

３　あなたがこの研修受講を通じて新たにワーカーとして持ち得た理念・価値について書いてください。

|  |
| --- |
|  |

４　研修受講を踏まえ、あなたがこれまで活用した技術について、改めて該当するものに○をつけてください（複数可）。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | アウトリーチ | 2 | 危機介入 | 3 | 個別アセスメント | 4 | 組織アセスメント | 5 | 地域アセスメント |
| 6 | 個別プランニング | 7 | 地域プランニング | 8 | 評価 | 9 | アドボカシー | 10 | ケースカンファレンス |
| 11 | グループワーク | 12 | ネットワーキング | 13 | 関係者の連絡調整 | 14 | 社会資源の活用・調整 | 15 | 社会調査 |
| 16 | プレゼンテーション | 17 | ファシリテーション | 18 | 調停 | 19 | 組織化 | 20 | 管理運営 |
| 21 | 社会資源の開発 | 22 | ソーシャルアクション | 23 | スーパービジョン | 24 | コンサルテーション | 25 | その他 |

５　研修受講を踏まえ、あなたがこれまでに実践した経験があるソーシャルワーク機能について、改めて該当するもの（1～4）に○をつけてください（複数可）。

※『地域共生社会の実現に資する体制構築を推進するソーシャルワークのあり方に関する実証的調査研究』（日本社会福祉士会実施）における「地域共生社会の実現を目指したソーシャルワーク実践に資する調査確認シート」より

１　自ら実践した経験がある　　　　　　　　　　　　　　２　専門職と協働して実践した経験がある

３　地域住民と協働して実践した経験がある　　　　４　それ以外の協働によって実践した経験がある

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｂ　住民主体の地域課題解決体制 | 1 | ソーシャルワーカー自身が地域社会の一員であるということを意識し実践した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2 | 地域特性、社会資源、地域住民の意識等を把握した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3 | 個人、世帯、地域の福祉課題に対する関心や問題意識の醸成、理解の促進、福祉課題の普遍化を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 地域住民が支え手と受け手に分かれることなく役割を担うという意識の醸成と機会を創出した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 地域住民のエンパワメント（住民が自身の強みや力に気づき、発揮することへの支援）を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6 | 住民主体の地域課題解決体制の立ち上げ支援並びに立ち上げ後の運営等の助言・支援を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7 | 住民主体の地域課題解決体制を構成するメンバーとなる住民や団体等の間の連絡・調整を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8 | 地域住民や地域の公私の社会資源との関係を形成した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9 | 見守りの仕組みや新たな社会資源をつくるための提案を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10 | 「包括的な相談支援体制」と「住民主体の地域課題解決体制」との関係性や役割等に関する理解を促進した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ａ　包括的な相談支援体制 | 1 | 地域において支援が必要な個人や世帯及び表出されていないニーズを発見した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2 | 地域全体で解決が求められている課題を発見した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3 | 相談者の社会的・心理的・身体的・経済的・文化的側面のアセスメントを行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 相談者個人、世帯並びに個人と世帯を取り巻く集団や地域のアセスメントを行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | アセスメントを踏まえた課題解決やニーズの充足及び適切な社会資源への仲介・調整を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6 | 相談者個人への支援を中心とした分野横断的な支援体制及び地域づくりを行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7 | 必要なサービスや社会資源が存在しない又は機能しない場合における新たな社会資源の開発や施策の改善を提案した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8 | 地域特性、社会資源、地域住民の意識等を把握するための地域アセスメント及び評価を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9 | 地域全体の課題を解決するための業種横断的な社会資源との関係形成及び地域づくりを行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10 | 包括的な相談支援体制に求められる価値、知識、技術に関する情報や認識を共有した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11 | 包括的な相談支援体制を構成するメンバーの組織化及びそれぞれの機能や役割の整理・調整を行った。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12 | 相談者の権利を擁護し、意思を尊重する支援や方法等を整備した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13 | 包括的な相談支援体制を担う人材の育成に向けた意識を醸成した。 | 1 | 2 | 3 | 4 |